

# PATENT Attorney

2026

VOL.122

夏号

パテント・アトニー

＼ ヒット商品はこうして生まれた！ ／

## ヒット商品を支えた知的財産権

ヘルシーな寒天で食卓を彩り愛されるブランド

## かんてんぱぱ

- シリーズ特産品「駿河竹千筋細工」
- 知っておきたい！この技術  
トレンドてっく「パワー半導体」
- 知財miniトリビア
- 弁理士ジョージの相談室
- 漫画「なすびくんのお仕事」
- 特許庁からのお知らせ
- JPAA Information





# かんてんぱぱ

特許 第1520304号  
商標登録 第1722676号



## かんてんぱぱ®



きあがった。かんてんぱぱ製品は寒天を家庭で簡単に美味しく食べられるコンセプトで、スープ類をはじめ日々の食卓に取り入れやすい幅広い食品の品揃えがあり、同社のオンラインショップにはスイーツからスナック菓子、調味料、麺などバラエティに富んだ商品がラインナップされている。寒天は低カロリーで、食物繊維やミネラルが豊富なヘルシー食材として注目され、近年は食事系の商品も販売が拡充している。

### ヘルシーな寒天で食卓を彩り愛されるブランド

伊那食品工業株式会社は1958年に業務用粉末寒天のメーカーとして設立され、研究開発の成果により国内で80%、世界で15%のシェアを誇る寒天のトップメーカーだ。「かんてんぱぱ」は同社の家庭向け商品のブランドとして、寒天を用いたデザートなどさまざまなアイテムで多くのファンを獲得してきた。

会社の設立当時、寒天製造は天草などの紅藻類を煮て抽出した寒天成分を冷やし固めたところを、屋外で凍らせて水分を抜く方法が主流だった。原料の海藻の収穫量や屋外での工程は天候の影響を受け、寒天は価格の変動が大きい相場商品だった。高度経済成長期には藻場や干潟が埋め立てられ海藻の生育地が失われたこともあり、海外から良質な原料を輸入して相場商品からの脱却を図った。1970年代後半には3～5年分の原料の在庫を確保して、安定的な価格を維持できる体制を業界に先駆けて確立した。

1980年に立ち上げた「かんてんぱぱ」ブランドは、寒天を身近に感じられるゼリーやプリンなどデザート分野を中心に「ちょっと手作り」をコンセプトに料理を手作りする楽しさや家族みんなで食べる喜びをアピールしてスタートした。ブランド名は、デザート作りには無縁のイメージがある「ぱぱ」でも作れるという意外性と親しみやすさを印象付ける狙いがあった。かんてんぱぱは立ち上げ当時の一般的

な粉末寒天は煮溶かすのに沸騰させる必要があった。沸騰溶解させることなく手軽にゼリーを作れる「カップゼリー80℃」の製品化には、課題であった寒天の溶解性を改善しなければならない。寒天は分子が東化して粉末になると溶解するのに高いエネルギーが必要となるため、東化構造をとらず粉末にできれば低温で溶解する即溶性寒天ができると推測して研究が始まった。研究室では試行錯誤を続けて製品化までに5年ほどの歳月を要した。さまざまな条件での実験を重ねて製造条件を確立し、工場の建設や機械を設置して製品化に導いたのは、開発者たちの情熱と粘り強さだった。同社開発本部研究開発部基盤研究室の落俊行さんは「ブランド立ち上げ当時、寒天産業は斜陽産業だった。寒天産業発展のために我々は地道に研究や開発を行い、寒天のコンシューマー製品の市場をつくり、和菓子に限らずさまざまな用途で寒天の市場を広げることができた。寒天を誰よりも深く研究するという姿勢は、今でも変わっていません」と振り返る。カップゼリー80℃は、家庭に普及していた電気ポットの80℃のお湯を注いでかき回し、冷やすだけでゼリーができる簡便さと新しさでヒット商品となった。

即溶性寒天の製品化によりパパロアの素「パパロリア」も生まれた。パパロアの食感に不可欠なゼラチンは温度変化に弱いことを克服することが開発の壁であったが、即溶性寒天の開発で深めた知見によって家庭でも本格的なパパロアを楽しめる商品がで

設立当初から現在に至るまで、同社では社員の1割が研究開発に携わる体制がとられている。寒天成分のアガロースとアガロペクチンのバランスによって、硬さや弾力などの異なる多様な物性を生み出してゼリー材としての用途を広げてきた。研究開発には顧客の求める物性を実現する部門と、用途を想定せずに新たな物性を追求する部門があるそうだ。寒天はゼリー材として用いられるだけでなく、さまざまな加工食品に粘りを付けたり、保湿したりする機能が利用され、加工食品以外にも健康食品や化粧品、医薬品、工業製品など広範な用途がある。同社は開発から生まれた独自技術を守る知財の活用も重要視し、これまでに190件を超える特許を取得している。その多くは水溶性多糖類に関するものだ。日本は寒天の技術先進国だが、近年は海外で寒天の消費が増えるとともに寒天メーカーが台頭して技術的にもキャッチアップしてきた。落さんは「海外メーカーは日本の知財にかなり気を遣っているようで、特許の抑止力を感じています」という。また海外メーカーを意識して、製法特許ではなく用途特許で新たな技術を守る戦略も立てているそうだ。

かんてんぱぱブランドの特徴は、400年に及ぶ歴史のある寒天を極める研究開発で、健康増進など現代のニーズに合致した「日常の食卓を支える寒天ブランド」として戦略的に領域を広げてきたことにある。

シリーズ  
JAPAN

特産品

## 駿河竹千筋細工

商標登録 第6078473号

駿河竹千筋細工(するがたけせんすじざいく)は、静岡県静岡市周辺で継承されている技術を用いた、同地域生産の竹製工芸品です。昭和51年には国の伝統的工芸品の認定を受けました。

特徴は竹ひごにあり、多くの他産地の竹細工が「平ひご」を「編む」のに対し、駿河竹千筋細工では丸く削り出した細い「丸ひご」を一本ずつ「組み立てる」技法にあります。

細く削られた丸ひごを熱で曲げ、これを「輪」と呼ばれる枠体に開けた小さな穴へ差



花器 湧雲



行燈 花のつぼ  
写真提供: 駿河竹千筋細工協同組合

し込んで形を作ります。これにより、「千筋」との名の由来となった、畳一枚分の幅(約90cm)に対し千本に及ぶ竹ひごが並ぶほどの繊細さが、柔らかく優雅な曲線を生み出します。

駿河竹千筋細工には、住空間において実用的に用いられる作品が数多くあります。例えば、照明、風鈴、写真掛け、ペン立て、花器、バッグ、かご、菓子器などの日常生活に欠かせない品々です。

歴史的な起源は1600年代前半、徳川家

康の鷹狩り用の餌かごや武士の内職から始まったと言われています。現在のような精巧な技術となったのは1840年頃のことです。駿河竹千筋細工協同組合を中心に技術が守られており、一人の職人がその技を駆使して、竹ひごを一本一本組み、作品を完成させます。駿河竹千筋細工の持つ竹特有の涼しげな質感は、和洋を問わず現代のインテリアにも美しく調和します。駿府の工房 匠宿では初心者向けの製作体験が人気を博しています。

このコーナーに掲載ご希望の方は、「特産品」のプロフィール・連絡先を右記までお送りください。 Fax 03-3519-2706 Mail panf@jpaa.or.jp

知っておきたい!この技術

シリーズ

62

トレンドてっく

## パワー半導体

高電圧や大電流を効率的に制御・変換できる半導体をパワー半導体という。通常の半導体より高耐圧、高耐熱の構造を持ち、スイッチング動作により電力のオン・オフを高速で切り替えて電圧・電流の変換を行うので、エネルギーのロスが少ない。省エネ、小型化、軽量化を可能にして、すでにパソコン、ス

マートフォン、エアコンやテレビなど家電製品のほか、電気自動車、鉄道車両、再生可能エネルギーの発電設備、あるいはデータセンターや5G基地局など高効率の電力変換が求められる領域に導入されている。

これまでパワー半導体の素材は主にシリコン(Si)だったが、高耐圧や熱耐性が限定的であることから、より効率と耐久性が求められる用途では炭化ケイ素(SiC: シリコンカーバイド)や窒化ガリウム(GaN: ガリウムナイトライド)など新素材の採用が進みつつある。いずれの素材も製造難易度・コスト

が高いため、世界各国で製造技術の開発・改善が進められている。パワー半導体の材料として最も優れた性能を発揮するとされるのはダイヤモンドだが、高品質の人工ダイヤモンド結晶の基盤を製造する技術は確立に至っておらず、基盤サイズの制限や高い加工コストが実用化を阻んできた。日本はダイヤモンド半導体の研究・開発で世界のトップにあり、量産化に向けた技術開発に産官学で取り組んでいる。

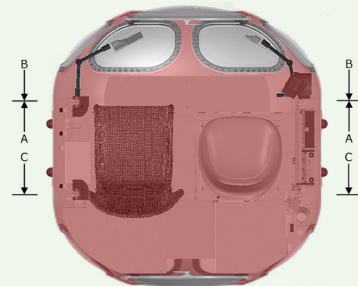
知財 mini

トリア

## 第22回 陸・海・空を網羅する内装の意匠

意匠権の保護対象は長らく「物品」に限定されていましたが、2020年4月施行の法改正で、画像意匠(物品から離れた画像自体)、建築物、内装のデザインが新たに保護されるようになりました。2026年3月8日の特許庁資料によると、出願件数は、画像7953件、建築物2158件、内装1396件となっています。内装が最も少ないのは、①店舗、事務所その他の施設の内部で、②複数の物品、建築物または画像により構成され、かつ、③内装全体として統一的美感を起こさせる、という条件を満たすハードルが高いからかもしれません。

それでも登録可能な意匠は幅広く、不動産に限らず動産でも登録できます。たとえば、陸上関係では、「トレーラーハウスの内装」(意匠登録第1707449号ほか)、「キャンピングカーの内装」(意匠登録第1797721号)、「鉄道車両の内装」(意匠登録第1811516号ほか)が、海上関係では、「船舶の乗員室の内装」(意匠登録第1716112号ほか)、「屋形船の内装」(意匠登録第1750561号ほか)が、航空関係では、「航空機の厨房の内装」(意匠登録第1755049号)、「気球用キャビンの内装」(意匠登録第1810174号)が登録されています。(弁理士 稲穂健市)



(意匠登録第1810174号)  
気球用キャビンの内装

# 弁理士ジョージの相談室 Q & A

先日は、弊社の美颜装置に関し、特許出願、意匠登録出願および商標登録出願にご尽力を頂きありがとうございました。



どういたしまして。いずれの出願も登録されると良いですね。今日は、どうされましたか。

実は、美颜装置の開発者が「取扱説明書」を作成しました。イラスト入りで好評なんです。この「取扱説明書」も知的財産権で保護することは可能でしょうか。



説明書内の「独特な説明文」、「描き下ろしのイラスト」、全体の「レイアウト」などに関して、著作権での保護が考えられます。

そうですか。前向きに検討したいので、先日の特許出願等と同様に、著作権を取得するための出願書類の作成をお願いしますか。



著作権は、著作物が完成したと同時に発生しますので、特許法のように出願する必要はありません。

そうなんです。でも、この「取扱説明書」が著作権で保護されるとした場合、著作権は、創作した美颜装置の開発者が有すると思います。わが社に帰属させるには特許を受ける権利の予約承継のような書類の作成が必要になりますよね。



いいえ。この「取扱説明書」は、貴社の職務として開発者が創作しています。この場合、職務著作に該当し、就業規則等で開発者を著作者とする別段の定めがなければ、著作権は最初から貴社に属することになります。

そうなんです。大変勉強になりました。引き続き、わが社の知的財産権の保護・活用についてのアドバイス宜しくお願い致します。



## なすびくんのお仕事

飯間和之(作) 飯岡菜子(画)



### 日本弁理士会マスコットキャラクター“はっぴょん”

「はっぴょん」は弁理士制度100周年(1999年)を記念して発案されました。?マークが帽子をかぶっているようで面白いでしょう。「はっぴょん」の名前の由来は「アイデアが「はっ」と湧いたら「びょん」と弁理士に相談してね」です。はっぴょんは、私たちの生活に関わる知的財産について分かりやすく教えてください。

## 特許庁からのお知らせ

### 弁理士インタビュー特集を公開中です!



現場で活躍する弁理士たちが語る、仕事のやりがいと知財の面白さをご紹介します。知財に詳しくない方でもキャリアのヒントが得られる内容です。ぜひご覧ください!



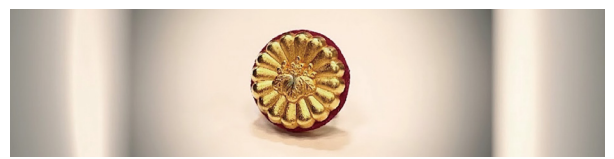
◀ Vol.1記事はこちら!



◀ Vol.2記事はこちら!

## JPAA Information

### 日本弁理士会公式YouTubeチャンネルのご案内



日本弁理士会では公式YouTubeチャンネルを開設しております。ドラマ、アニメ、ドキュメンタリーなどさまざまな形式で知的財産や弁理士の役割について紹介しています。2025年度は、ショートドラマ「ゆるふわ図面の敏腕弁理士：凜」を制作しました。普段知財を身近に感じない方にご覧いただきやすい内容となっております。今後もさまざまな動画コンテンツを掲載予定ですので、ぜひチャンネル登録をよろしくお願いいたします。

日本弁理士会公式YouTubeチャンネル  
<https://www.youtube.com/@jpaamovie>

